



## \* 11月の第五中学校図書館 \*

校内読書週間として、11月22日から29日までの期間で、貸し出し冊数100冊を目標として取り組みました。館内では、戦後日本を代表する詩人の谷川俊太郎さんを追悼するコーナーと、第五中学校の図書館に谷川さんの本が何冊あるでしょうか？クイズを準備していました。館内で谷川さんの本をさがして読んでみてはいかがでしょうか。学習した詩や知っている詩が多いかと思います。翻訳された「ピーナッツ」シリーズは、貸し出し回数も多く人気です。

## \* 佐賀県新春読書感想文コンクールすいせん図書を紹介（紹介：版元ドットコムより） \*

読書の楽しさやすばらしさを体験することにより、読書の習慣化を図るとともに、その感動を文章に表現することで、豊かな人間性を育むことなどを目的として、毎年コンクールを実施されています。ぜひ選定された本を読んでみましょう。

<p>『アオナギの巣立つ森では』 にしがき ようこ (小峰書店)</p>  <p>小学6年生のあおばと<sup>なぎ</sup>柳。森の中で偶然オオタカの巣を発見し、巣の中のヒナの成長を見守ろうと約束する。奥多摩の自然と共に描かれる、子どもたちの心の成長の物語。</p>	<p>『スタート』 楠 章子 (あかね書房)</p>  <p>居場所をなくしていく五人の子どもたち。怪しい猫男<sup>ねこおとこ</sup>があらわれ、救いの手を差し伸べるが、今すぐそこにある、子どもたちの物語。</p>
<p>『学校に行かない僕の学校』 尾崎 英子 (ポプラ社)</p>  <p>中2の初夏、薫は寮付きの森のフリースクールに行くことを決めた。静かに自分の心に向き合い、前に一步を踏み出す。学校を通らない道もちゃんと未来につながっている。</p>	<p>『鈴の送り神修行ダイアリー』 山下 雅洋 (岩崎書店)</p>  <p>中2の鈴は、夏休みにひよんなことから池に落ち、溺れてしまう。目覚めた場所は、この世とあの世の「あわいの世界」。死者の魂を送る送り神の修行をして、生きることを見つめなおす7日間を過ごす。</p>
<p>『空の手』 新井 けいこ (偕成社)</p>  <p>空手を習い始めた奏<sup>そら</sup>楽は、上達せず中学受験を言い訳に空手をやめた。同じ道場で群を抜くうまさだった遥人は、空手をやめて野球部に入っていた。悩みながら、それぞれの道を選ぶ中学生を等身大に描く。</p>	<p>『野良猫たちの命をつなぐ』 笹井 恵理子 (金の星社)</p>  <p>いらぬ命なんてこの世にない。一年間に2万匹の野良猫が殺処分されている！野良猫専門の病院を開き、格安<sup>ふにん</sup>で不妊去勢手術<sup>きよせい</sup>をうけ負<sup>さいとうともこ</sup>う齋藤朋子獣医師。人と動物の共生を考えるノンフィクション。</p>
<p>『ファミリーマップ』 おおぎやなぎ ちか (文研出版)</p>  <p>お母さんを亡くした中学生の陸はお父さんと二人暮らし。お父さんが再婚することになり動揺する。新しいお母さん、妹の誕生、幼なじみの夢<sup>ゆめ</sup>芽の悩みと、陸のまわりは、めまぐるしく変わっていく。</p>	<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> <h2 style="margin: 0;">第60回佐賀県新春 読書感想文コンクール</h2> <p style="margin: 5px 0 0 0;"> <span style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">中学校 の部</span> <span style="font-size: 0.8em; vertical-align: middle;">先生がおすすめる すいせん図書 冬休みに本を読みましょう</span> </p> </div>